

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	つくばエクスプレス沿線自転車駐車場設置及び管理運営事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	道路管理課			
施策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保		主管課長	染谷 祐治			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	T X 3駅周辺における自転車駐車場	意図	放置自転車の撲滅。
事業内容	T X 3駅周辺における放置自転車を撲滅させるため、自転車駐車場の整備及び適切な管理運営を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年T X開業以降、年々駅利用者が増加するなか、必然的に自転車利用者も増加し、自転車駐車場の増設が急務となっている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		自転車駐車場用地取得		169.05	197.43	m <sup>2</sup>	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						放置自転車対策については、委託業務により一定の事業効果は達成できているものの、年々増加する駅利用者ならびに自転車利用者への自転車駐車場の確保が課題となっている。平成29年度には南流山駅南口、平成30年度には流山おおたかの森駅北口において自転車駐車場用地を取得した。今後とも更なる用地取得が緊急の課題となっている。
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			42,519,620	119,658,960			
事業費(b)(円)			39,424,920	116,362,960			
うち一般財源			39,424,920	29,962,960			
職員給与費(c)(円)			3,094,700	3,296,000			
人役・職員(人)			0.40	0.50			
人役・再任用(人)			0.10				
人役・臨職(人)			0.10				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	自転車駐車場の適切な整備及び管理運営を行い、放置自転車の撲滅に努める。	取組における課題(Check)	自転車駐車場の整備に伴う用地の確保が困難である。継続して、用地取得について地権者と交渉していく。
H30に実施した取組(Do)	流山おおたかの森駅北口において用地を取得し、自転車駐車場を整備し運営を開始した。	課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	人口増加に伴う自転車利用者の増加に対応するため、自転車駐車場の適切な整備及び管理運営を行い、放置自転車の撲滅に努める。